

愛知教育大学附属高等学校

ICT活用

株式学習ゲーム

iPad を用いて、株式学習ゲームにログインしています。そして、実際の株を仮想売買していきます。チームごとに社会の情勢を踏まえて、どの会社の株を購入し、その後売却時期をどう判断すべきかを話し合い、全員の合意を得て進めました。4ヶ月後に各チームの運用結果を発表し評価しました。株価変動の背景を探ることで、世の中の仕組みや動きを学び、興味を持たせることができました。



数学「データの分析」

「データの分析」では、生活実態アンケート結果と学習成績との相関関係について、iPad を活用しています。グループでデータを分析し、考察し、発表する授業を行っています。数学を活用することで、数学のよさを認識し、数学的論拠に基づいて判断する態度を育てています。



高大連携

大学研究室訪問

学校が大学の敷地内にあるメリットを活かし毎年、1年生が大学の研究室を訪問します。訪問前にはグループ学習や調べ学習を行い、事後にはポスター発表を行っています。生徒にとって有意義な学習の場となっていると同時に、大学教員からも、もっと時間が欲しいとの要望をいただいています。



大学生によるサポート活動

本校の「身体計測・体力診断テスト」や「検診」では、愛知教育大学養護教諭養成課程4年生の学生が、校医や教員のサポートとして活動しています。附属高校としては業務の効率化に、また学生にとっても貴重な実地体験となっています。



高大連携授業

大学教員の協力を得て、安部公房の「鞆」を教材とした高大連携授業を行いました。高校の授業では「自分の考えを持つ」ことに終始しがちですが、この取組では「鞆」の理解にとどまることなく、大学の研究者による客観的な読解の方法を学び、高大連携ならではの深い学びにつなげることができました。

生徒の感想

- 大学で学ぶことを織り交ぜながらの授業だったので、新鮮で面白かった。
- いつもとは違う視点からだったので現代文が苦手な僕としては面白かった。
- とても分かりやすく、理解が深まったように思う。またお願いしたい。